



TERRAとも

NPO 法人 地球市民友の会

第 23 号

2017(平成29)年 1月
NPO 法人地球市民友の会
藤沢市高倉 258 東勝寺内
☎0466-44-7570

FAX : 0466-44-0452 E メール : npo.terratomo@gmail.com HP : http://www.terratomo.com

明けましておめでとうございます。

皆様には本年も倍旧のご支援を宜しくお願い申し上げます。

生きたかった時間を生きている。

東日本大震災では一度に一万八千人の命を津波が飲み込んだ。

赤ちゃんも幼稚園児も小学生も中学生も高校生も大学生も社会人もお父さんもお母さんもじいちゃんもばあちゃんも皆飲み込んだ。 希望も夢もふるさとも飲み込んだ。

今この時間は夢叶わず無念残念至極で亡くなった人たちが生きたかった時間である。生きたかった時間を私たちは生きている。

昨年、11月に東日本大震災で84名が犠牲となった大川小学校関連の講演を聞いて、強くそう思った。

皆様、この1日この1年を大事に大事にお過ごし下さい。

平成29年 正月

NPO 法人 地球市民友の会
理事長 黒澤宗剛



元旦に浮かんだ駄作を二句

「来てみれば こんなものかと 古稀の春」

「さされつつ 妻とドブクロ 古稀の春」



「今年の苦労は忘れ！」「新しい気持ちで新年を迎えよう！」

～国籍を超えて広がるご縁の輪、ご縁に感謝！～



日本語友の会の生徒あいさつ

色々な国の言葉で「乾杯しましょう！」



様々な音楽に歌や踊り等のパフォーマンスに
会場は大盛り上がり！！



様々な料理にびっくり！



フィナーレが近づくと
みんな立ち上がって歌
って！踊って！ 元気
でね！

2016年12月29日（木）、「年末国際交流会」が東勝寺において盛大に開催された。地域に暮らす外国籍市民（ペルー、アルゼンチン、ブラジルなど南米につながる人々、ベトナム、中国、インドなどアジアにつながる人々など）、地球市民友の会の会員やその関係者、寺の関係者など170余名が参加、1年間の苦労を労い、再会を喜び合うとともに、来年もよろしくねと声を掛け合う。そんなご縁の輪が会場全体に芽生え、つながり、広がっていった。

参加者は自国の料理を持ち寄った。それらを並べるテーブルは、国際色豊かな料理で一杯になった。交流会は、地球市民友の会の黒澤理事長（東勝寺住職）の「今年の苦労は忘れ新しい気持ちで新年を迎えるため、この会を楽しいものにしましょう」という挨拶で始まった。続いて日本語教室で学んでいる生徒の挨拶があった。ペルー出身のパブロさん、インド出身のラバニアさん、台湾出身の鄭さんがそれぞれの母国語と日本語でスピーチをすると参加者から大きな拍手がわいた。そして NPO 地球市民友の会顧問の高橋さんの数カ国語を使った乾杯の音頭で懇親会が始まった。バイキング風に並べられた料理が載ったテーブルに沿って長蛇の列ができた。

特設ステージでは交流会を盛り上げようと出演してくれた方々の素晴らしいパフォーマンスが始まった。①マチャスカ（南米音楽）②バスンダリ（バリダンス）③ハーモニカと尺八（懐かしい日本の歌演奏）④子どもによるダンス（ボリビアダンス）⑤Graeme バンド（演奏と歌）⑥イズミオリエンタルダンス（ベリーダンス）⑦ちゅらそん（ラテン日系楽団のバンド演奏と歌）。出演の皆さんは毎年のようにボランティアでやっています。本当に有り難いことです。

今年1年間、日本の国内外では***様々なニュース**があった。しかし、年の瀬を迎えたここ東勝寺の夜は別世界。美味しい料理や飲み物をいただき、素晴らしい演奏や歌に心弾ませながら話を交わし、歌い、踊った。フィナーレが近づくと会話の輪が踊りの輪に変わり、別れを惜しむかのように会場は熱気に包まれた。国籍を超え、老若男女が東勝寺で逢えたご縁に感謝しながら「来年もがんばろう！」「来年もよろしく！」「みなさん良いお年を！」と声を掛け合い交流会はお開きとなった。

この充実した交流会の運営にたいしてご支援ご協力くださいました皆様、また文教大学HOPの学生さんや企画、準備、運営等での縁の下の力持ち的役割を担ってくださいましたボランティアの皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

***様々なニュース** （読売新聞 2016年の10大ニュースより）

(国内) 1. 熊本地震 2. 都知事に小池氏 3. リオ五輪メダル41個 4. 天皇陛下退位のご意向示唆
5. オバマ大統領広島訪問 6. 大隅さんノーベル賞 7. 北海道新幹線 8. 障害者施設で大殺傷事件
9. 18歳選挙施行 10. ポケモンGO配信開始

(国外) 1. 米大統領にトランプ氏 2. 英国民投票「EU離脱」 3. 朴氏友人の国政介入疑惑 4. ボブ デイラン ノーベル文学賞
5. パナマ文書公開で波紋 6. オバマ大統領キューバ訪問 7. 北朝鮮初の水爆実験
8. 露ドーピング国主導 9. ミャンマー新政権発足 10. カストロ前議長死去

第13回 ふじさわ国際交流フェスティバルに参加



10月30日（日）藤沢駅サンパール広場において、多文化共生社会を目指して事業を展開している団体

が一同に会し、第13回ふじさわ国際交流フェスティバルが開催された。例年より2週間ほど早い開催のせいや雨の心配皆無でにぎやかなフェスティバルであった。ステージでは、太極拳、韓国民謡とダンス、フラメンコ、フラダンス、アルプスホルン、バリダンス、バンド演奏と歌など国際色豊かな出し物が披露された。テントでは、世界各国（アメリカ、カナダ、ベトナム、中国、韓国、ドイツ、チェコ、ブラジル、ペルーなど）の紹介や料理、民芸品などの販売、国際交流サロン、日本語教室の案内など変化に富んだ出展があり広場は祭り一色のにぎわいとなった。

地球市民友の会のテントでは「ペルーの食品の販売。NPO法人地球市民友の会の紹介と日本語友の会やMINTOMO教室のPR」を行った。今年も地球市民友の会のテントの前にはチョリソーやバーベキューチキンの美味しい匂いが漂い、その香りに引き寄せられるように次々と人が集まってきた。

ステージに出演した「ちゅらそん」（「美しい村」という沖縄の言葉）は、音楽好きの仲間が集まって編成されたバンドで、メンバーはペルー、アルゼンチン、ホンジュラス、日本出身と多彩。バンドリーダーは、アラカキ アルベルトと神崎なおの二人。ラテン音楽だけではなく、日本の音楽をラテンスタイルで演奏し歌うなど、南米の文化を感じてもらいたいと願いつつ活動をしてきているグループである。毎年東勝寺で開催している年末国際交流会でも会を盛り上げてくれる出演団体としても周知されている。

今年も、早朝から運営に関わったくださった皆さん、参加された皆さん本当にご苦労さまでした！

ペルーってどんなところ？

～FROM “カルタ デ タンボグランデ”～

NPO法人地球市民友の会の日本語友の会の教室で、日本語や日本の文化を学んだ外国籍市民はこれまでに150名にも達しています。最近ではアジア系の生徒が多くなってきましたが、発足当時は南米、とりわけペルーやアルゼンチンから来た生徒が多く在籍していました。そのような事情もあって、地球の反対側の国から来た人々との様々な交流の機会が設けられ相互理解が進んできたように思います。

さてペルーといえば昨年、青年海外協力隊の一員としてペルーに出かけた女性がいます。藤沢市役所の平和国際課で多文化共生に係わる仕事を担当していた田崎丸美さんです。彼女は藤沢市主催の国際課の事業だけではなく私たち地球市民友の会のような多文化共生事業を展開している団体などにも積極的に関わり応援してくれていた方でした。その彼女が日本で半年間研修を受けた後、10月にはペルーに渡り、リマで語学研修を受け、11月にはペルー北部のピウラ県にあるタンボグランデの町役場経済開発課に赴任して活動を始められたとのこと。活動期間は2年間ということですが、地球市民友の会としても田崎さんの今後のご健闘ご活躍をお祈りしていきたいと思えます。

このコラムでは、カルタ デ タンボグランデ（タンボグランデからの手紙）を基にして地球の反対側にあるペルー（タンボグランデ）について皆さんに紹介していきたいと考えています。

まずは、ペルーはどんな国？

正式名はペルー共和国、南アメリカ西部に位置する共和制国家。首都はリマ。北にコロンビア、北西にエクアドル、東にブラジル、南東にボリビア、南にチリと国境を接し、西は太平洋に面している。紀元前から多くの古代文明が栄えており、16世紀までは当時の世界で最大級の帝国だったインカ帝国の中心地だった。

<ウィキペディアより>

次に、タンボグランデはどんなところ？

ペルー北部のピウラ県にあり、リマから飛行機で1時間半、陸路では16時間かかります。ピウラからタンボグランデへは車で1時間程です。

ペルーにはコスタ（海岸砂漠地域）シエラ（アンデス山岳地域）セルバ（熱帯雨林）の3つの気候があります。町の中心を離れると、地面は砂で感想林野熱帯果樹の畑があります。町の中心はアスファルトの道路もありますが、砂のままの道が多く家の中も砂っぽく感じます。気候は11月は



春なのですが、最低気温24度、最高気温35度、日差しが強く外を歩いていると皮膚が痛く感じます。雨が降るのは夏で200mm。東京は1530mmなのでとても乾燥しています。

人口は約10万人、面積は約1442平方キロメートル。藤沢市の人口が43万人、面積が約70平方キロメートルなので、人口は少なくともとても大きい町です。人口の35%が町の中心部に、65%は家庭が数件ずつ集まり、162の集団住宅を形成して生活をしています。産業はマンゴー、レモン、バナナ等の農業が中心で、畑や果物の包装や輸出をする工場があります。



クリスマスの過ごし方についての記述がありました。「カトリック教徒の多いペルーではクリスマスは家族で過ごす大切な日です。町役場や広場、家庭も飾り付けをします。学校ではチョコラタダといってプレゼントをもらったりお菓子を食べる行事があります。12月24日は教会のミサが21時から23時までであり、その後、家族で七面鳥やパスタ、パネトンというケーキ等食べてお祝いします。私はミサで演奏後、近所の家族と一緒に過ごさせてもらいました。家族で楽しく過ごすクリスマスはとても素敵でした。」
＜カルタ デ タンボグランデより＞

ことばカルチャ

お「正月」とは？

「正月」は「1月」の別名ではありますが、家に歳神様（としがみさま）をお迎えし祝う行事です。歳神とは1年の初めにやってきて、作物が豊に実るように、また、家族みんなが元気で暮らせるようにと見守ってくれる神様です。ていねいに“お”をつけて「お正月」ということがあります。また、「1月」を「睦月（むつき）」と呼ぶように、正月は家族揃って、おせちを食べたり、お年玉のやりとりをしたり、正月遊びをしたりして過ごすなど、特別な思いが込められている月といえます。

古くから、年の始めの正月は春の始まりとも考えられており、人々は春のもたらす生命の誕生を心から喜び「めでたいこと」として神様に感謝の気持ちを表してきました。「めでたい（目出度い）」という言葉は「新しい春を迎え芽が出る」という意味があります。新年に交わす「明けましておめでとうございます」は、年が明けて歳神様を迎える時の祝福の言葉でした。つまり、神様への感謝の言葉を人々の間で交わすことにより、歳神様を迎えられたことを喜び合う年頭のあいさつの言葉になったようです。

2017年の主な活動予定

☆湘南台在住外国人の日本語スピーチ大会

3月 4日（土）午後1時半～ 場 所：湘南台公民館

☆地球市民友の会 理事会 5月13日（土）午後6時～ 場 所：東勝寺

☆地球市民友の会 第5回通常総会

6月 3日（土）午後5時～ 場 所：東勝寺

内 容：2016年度事業報告、収支報告

2017年度事業計画、収支計画、他

☆お泊まり会 日 時： 8月19日（土）21日（日）

☆ふじさわ国際交流フェスティバル

日 時： 未定 場 所： 未定

☆MINTOMO 交流会 日 時：12月 2日（土）予定 場 所：湘南台公民館

☆年末国際交流会 日 時：12月29日（金） 場 所：東勝寺